

第31回ニッセイ財団助成研究ワークショップ

サクラマスがのぼる 川の在来知

-岩手県閉伊川流域における環境教育の実践-

東京海洋大学 越中島キャンパス 越中島会館 〒135-0044 東京都江東区越中島 2丁目 1-6 12/_{17(±)}

「在来知と環境教育」研究会では、過去2年間にわたり、「ヤマ・カワ・ウミに生きる知恵と工夫ー岩手県閉伊川流域における在来知を活用した環境教育の実践ー」と題したテーマのもとに、岩手県の閉伊川流域を中心として調査・研究を進めてきました。研究のキーワードは、在来知、文化・社会のレジリエンス(回復力)、環境教育の3つです。

ワークショップの第1部では、閉伊川流域のヤマ・カワ・ハマの各地域について、 在来知と人々の記憶や生活に関わる研究と、環境教育の成果について紹介します。 第2部では、比較研究として、岩手県浄法寺と福島県内で行った聞き書き調査の成 果を発表します。

これらの研究の成果を通じて、在来知が流域の環境保護に果たす役割を再評価するとともに、在来知が、東北における大震災からの地域社会の復興にどのような役割を果たし得るのかを考えます。

oboto, Akiko Inana

プログラム

13:00	開会挨拶	ニッセイ財団 常務理事事務局長	伯井	穗文
13:10	研究プロジェクトの総括報告	総合地球環境学研究所・カリフォルニア大学 バークレー校	羽生	淳子

第1部:閉伊川流域

13:30	ハマの絵解き地図が持つ力 - 在来知を今につなぐ調査の試み - 東京大学 福永 真弓					
13:50	川のサクラマスがつなぐ山と海 - 子どもたちと一緒に考える科学知と在来知 - 東京海洋大学 佐々木 剛 さんりく ESD 閉伊川大学校 水木 高志					
14:10	山は宝だ - 北上山地における食の多様性と保存・加工の知恵 - 総合地球環境学研究所 真貝 理香 羽生 淳子					
14:30	ヤマを生かす焼畑 - 生態学からみた土と森 - 横浜国立大学 金子 信博					
14:50	休憩					

第2部:比較研究

15:05	ウルシを中心とした人と生態系 - 岩手県浄法寺における生業の多様性と在来知 -	中心とした人と生態系 - 岩手県浄法寺における生業の多様性と在来知 -					
15.05	青森県庁 伊藤 由美子 羽生 淳子						
15:25	核被災と社会のレジリエンス - 福島県内における小規模経済の新しい試み -						
	福島大学 後藤 康夫 奥羽大学 後藤 宣代 羽生 淳子						

第3部:コメント・総合討論

15:45	コメント	NPO 法人いわてマリンフィールド 弘前大学 東北文化学園大学 千里文化財団	杉山岡	久夫 祐子 惠介 修三
16:25	総合討論・質疑応答			
17:00	閉会			

お申込み方法

12/12 申込〆切

■ホームページから

ニッセイ財団

http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp

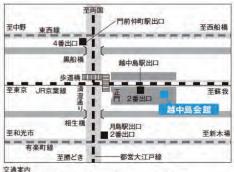
11/14より受付スタート 参加申込画面よりお申込みください

■ハガキで

以下を明記の上、ニッセイ財団ワークショップ事務局まで お送りください。

- ①住所(参加証お届け先)
- ②氏名
- ③団体名・役職名(大学、官庁、シンクタンク等)
- ④電話番号
- ⑤電子メールアドレス
- ⑥①が自宅の場合は職業(所属団体名)
- ---12月上旬より、お申し込みいただいたご本人あてに参加証を お送りいたします。ワークショップ当日は、参加証を受付に ご提出ください。

会場アクセス



小線京業線・武蔵野線 越中島駅(各駅停車のみ)から徒歩約2分 地下鉄東西線・大江戸線 門前仲町駅から徒歩約10分 地下鉄有楽町線・大江戸線 月島駅から徒歩約10分

お問合せ & お申込み ニッセイ財団ワークショップ事務局 〒541-0042 大阪市中央区今橋3-1-7 TEL (06) 6204-4012 e-mail: kankyou@nihonseimei-zaidan.or.jp